

田村市指定有形文化財

せきぞう あ み だ さんぞんらいごうくようとう まち
石造阿弥陀三尊来迎供養塔 (町)



田村市大越町下大越字町地内に所在する石造阿弥陀三尊来迎供養塔は、造立年代などは不明ですが、安山岩製で、地上高69cm、上幅29cm、下幅28.5cmの大きさです。

この供養塔は、鎌倉時代の末法思想の影響を受け、阿弥陀如来を信仰し極楽往生を願う目的で建立されたものと推測されます。石面に三尊仏が浮彫され、中尊に阿弥陀如来、向かって右側に蓮台を奉持した観音菩薩、左側には合掌する勢至菩薩が脇侍として飛雲に乗り、死者を西方の極楽浄土に導く状態を表していますが、勢至菩薩の一部分が剥落しています。

福島県中通り地方には、来迎供養塔が100基以上ありますが、田村市内には大越町にしかなく貴重なものです。